

アクションプランの方向性

○赤塚植物園にて試行

★令和3、4年度緑と公園の推進会議にて、アクションプランについて議論を重ねてきた。事務局より提示した7案(参考資料4-2 試行した7案)を赤塚植物園にて試行した結果、「**ガイドツアー+α**」案(案1) が軸となり他の案と組み合わせることが重要である、という意見が多数出たことにより、事務局として実現に向けた方向性を認識することができた。

○実現に向けて予算確保を目指す

★下記の目的を達成するために、「ガイドツアー+α」案をブラッシュアップした企画を作成し、令和6年度に実現に向けて庁内調整を実施する。土日開催も視野に入れ、子ども・家族連れの参加も狙う。

企画の目的

- ・赤塚地域に関する新たな情報発信
- ・グリーンプラン2025における、施策7みどりを楽しむライフスタイルの推進(P.74～80)に繋げる
- ・ガイドツアーの魅力向上
- ・リニューアルした赤塚植物園の魅力をより広く周知する

ガイドツアーの現状と課題

- ・ボランティアによるみどりの見どころ紹介
- ・参加者は60代、70代が多い
- ・平日開催
- ・リピーターが多い

具体的な企画例(※徒歩移動)

※行程によってはシェアサイクル移動も検討

- 10:00 下赤塚駅又は赤塚支所集合後移動
→赤塚しのがやと公園にて公園紹介。公園で普段できない遊びをする。シェアサイクルについても言及。
→竹の子公園にて竹林紹介
→赤塚溜池公園にて梅・湧水・トンボ池での保全活動・溜池の紹介
→不動の滝公園にて湧水紹介
→11:30 赤塚植物園到着 昼食休憩のため一時解散
【昼食】周辺の飲食店情報をマップに落とし込み配布。各自昼食を済ませる
その後、参加者にどこでどんな食事をしたのか可能な範囲で聞き取る
→13:00 赤塚植物園に再集合
→赤塚植物園にて公園全体の紹介、みどりの活動の発表、エコポリスセンター職員による講演、実生木の苗づくり体験 等を実施
→14:30 赤塚植物園にて解散。参加者にはSNS発信を依頼する。

スラックライン



竹の子公園



+αする例

①環境保全の啓発

○概要

- ・赤塚公園友の会等、環境系団体や区民グループと協力して保全活動啓発(案7)
- ・アメリカザリガニの説明、ピオトープの生き物観察
- ・みどりの活動について発表する場を設ける(R3アンケート結果)

○期待される効果



公園に湧水があるとは知らなかった

生き物は自分で責任もって飼育しないといけない

みどりの活動について発表し、啓発普及に繋げたい

②他部署との連携

○概要

- ・エコポリスセンター、熱帯環境植物館、防災危機管理課と連携。ガイドツアーの訪問先に連携部署を組み込むなど、説明する側として協力してもらう(案3)

○期待される効果

公園やみどりの紹介だけでなく、他部署と連携することで、学ぶことが広がって効果的になった

③地元店舗や農園等との連携

○概要

- ・地元飲食店にて昼食。アクションプラン案「見どころマップ」の一助とする(案6)
- ・農園、JAにて農業に関する説明をしてもらい、農とのふれあいの機会を創出

○期待される効果

自分のおすすめスポットや飲食店を共有したい

農への興味が湧いたので、農業体験や農園を利用したい

④健康とみどり

○概要

- ・健康増進面を広報誌に反映
- ・シェアサイクルで赤塚地域の公園やみどりを周遊

○期待される効果

健康増進のために参加してみたい

シェアサイクルの利便性を体験することができ、公園を周遊するきっかけになった

⑤公園の紹介、遊び方・公園利用の提案

○概要

- ・公園ごとの特色や遊具を紹介
- ・公園で普段できない遊びをする(スラックライン、ハンモック、虫眼鏡を使った火起こし実験等)

○期待される効果

新たに魅力的な公園を発見することができた

管理者がいることで公園利用方法が広がるなら町会や有志グループでその役を担いたい

⑥参加者によるSNS発信(フォトスポット)(案5))

○概要

- ・子どもと子育て世代にガイドツアーの様子をSNS発信してもらい、参加者による魅力発信をする。

○期待される効果

SNS映えする写真が撮れ、子どもも楽しんでいたのでまた参加したいと思った

知らない公園だけど、キレイな写真や楽しそうな遊びが印象的なので行ってみたい